

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 22 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 22 日 作成

事務事業名	小中学校特別支援教育支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 中島正剛
	施策	18	子どもを見守り育てる地域づくり	所属課	学校教育課	担当者名 中嶋照奈
	基本事業	57	子育ての経済的負担の軽減	所属班	学務指導班 (内線) 2233	
				法令根拠	・要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱 ・志市特別支援教育就学奨励費支給要綱	

予算科目	会計 1	款 10	項 1	目 2	事業連番 10562	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 7	コスト削減優先度評価結果 6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 不明 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に、就学に係る経済的負担を軽減することにより特別支援教育の奨励を図る。

【業務の流れ】
①申請書受付事務 ②審査及び結果通知事務 ③援助費支給事務

【予算の内訳】
扶助費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) H20年度に同じ
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に、就学奨励費を支給した。	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 認定児童数 人 イ 認定生徒数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に、就学に係る経済的負担を軽減することにより特別支援教育の奨励を図る。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 特別支援学級在籍児童数 人 イ 特別支援学級在籍生徒数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 経済的負担の軽減を図れる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 申請児童に対する認定児童の割合 % イ 申請生徒に対する認定生徒の割合 %
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 子育てのための経済的負担が大きいと感じる世帯の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画 ~ 年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	
事業費	国庫支出金	千円 443	450	433	598	692	692	692	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0
	都道府県支出金	千円 0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円 0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円 0	0	0	0	0	0	0	
	繰入金	千円 0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円 858	914	1,301	1,188	2,078	2,078	2,078	
	(A) 事業費計	千円 1,301	1,364	1,734	1,786	2,770	2,770	2,770	
	うち指定経費	千円 0	0	0	0	0	0	0	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円 0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	人	4	4	4	4	4	4	
正規職員従事人数	時間	325	325	325	325	325	325	325	
延べ業務時間	千円	1,290	1,294	1,294	1,294	1,294	1,294	1,294	
(B)人件費計	千円	1,290	1,294	1,294	1,294	1,294	1,294	1,294	
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,591	2,658	3,028	3,080	4,064	4,064	4,064	0

指標	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	目 標 合 計 数 計 画 22 年 度
		実績	実績	目標	実績	目標	目標	目標	
活動指標	人	31	29	35	33	35	35	35	目 標 合 計 数 計 画 22 年 度
	人	8	12	16	17	16	16	16	
対象指標	人	33	31	42	43	42	42	42	目 標 合 計 数 計 画 22 年 度
	人	9	13	23	23	23	23	23	
成果指標	%	93.9	93.5	83.3	76.7	83.3	83.3	83.3	目 標 合 計 数 計 画 22 年 度
	%	88.8	92.3	69.5	73.9	69.5	69.5	69.5	
上位成果指標	%	57.2	50.4	55	50.3	55	55	55	55

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
・要保護及準要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱により事業を開始

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成19年度より、特殊教育が特別支援教育と名称が変わった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
なし

事務事業名	小中学校特別支援教育支援事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	学校教育課
-------	----------------	-----	-----------------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 学校への就学経費を援助することにより、保護者の負担軽減につながり、結果として就学奨励を促進する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 法令に基づき特別支援教育の普及奨励を図る事業であり、市が行う業務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 法令で対象が特別支援学級在籍生徒に限定されており、変更することは適当でない。 法令で目的を特別支援教育の普及奨励を図るとしており、意図の追加・拡充の必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 法令に基づく事業であり、改正等がない限り成果向上の余地はない。ただし、現状を維持していくためには事業の継続が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 保護者の経済的負担増になり、生徒の就学に影響が生じ、特別支援教育を実施する上で影響が大である
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 同一事務として扱っているため、再編の余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 法令に基づき、必要な援助を行うことが本事業の目的であり、国の要領に基づき事業を行っているため見直しの余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現在も一時期に集中する事務を最低限の人数で行っており、削減余地はない。 所得額、生活状況把握と個人情報が多く含まれており、正職員による事務が適当
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 法令で、特別支援教育の普及奨励を図るため、経費の一部補助を行う事業であり、受益者負担は適当でない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	
-----------------------------------	--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	10	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)